



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R8,9,2 No,15

郡築小ホームページ

「立つ鳥跡を濁さず」「来た時よりも美しく」(＝日本が誇る文化)の原点は？

只今、NBAで活躍する八村選手や川村選手が出場している男子バスケットボールワールドカップアジア予選や、男女のバレーボールアジア選手権の様子がテレビ放映され、日本中がその活躍に歓喜しています。この選手たちが脚光を浴びているのは、コート上だけではありません。使用したロッカーを清掃し「来た時よりも美しく」して去って行く姿も海外メディアに取り上げられています。同様に、サッカーやラグビーの日本代表選手がロッカーを清掃して去ることも国際社会から賞賛を浴びています。さらに、MLBのドジャースで活躍する大谷選手がグラウンドに落ちているゴミを拾いポケットに入れていることや、山本選手がワールドシリーズ第2戦で、ベンチに残っていた全てのゴミを拾い集めてからクラブハウスへ戻った話は有名です。その他、ドジャース関係者が、「これまで所属した全ての日本人選手のロッカーはいつも綺麗であった」とも語っています。



この大谷選手をはじめ、バスケットボールやバレーボール、サッカー、ラグビーの代表選手たちは、インタビューで「特別なことをしている意識はない」と口を揃えて言います。



これは、日本の小学校や中学校において、掃除の時間が位置づけられていて、自然と「環境への感謝」を学んでいること。また、学校や部活動において、まず「道具(環境)を大切にする」という人間教育が徹底されていること。さらに、日本独自の「おもてなし」や「気配り」、「立つ鳥跡を濁さず」の美意識の精神が根底にあることなどが要因と思われる。

本校にもほぼ毎日「15分間の掃除の時間」があります。現在は、縦割り班(異学年で構成された班)で活動しています。その様子を見ますと、毎日、黙々と廊下や教室の雑巾が

けやトイレ掃除などに励んでいる子供、私語が多く早々と終えてしまう子供などがいます。

本校では、今後も、**全ての子供が主体的に掃除することを目指し**、掃除に励んでいる子供に対し認め・ほめ・励まし・伸ばす指導を繰り返していきます。

民間のスポーツクラブと連携した水泳指導がスタート

今年度は、本校プールの老朽化などに伴い、「スポーツクラブアレストハ代」と連携した水泳指導を行っています。

初日となった8月31日(月)は、5・6年生が登校後水着に着替え、スポーツクラブ所有の送迎車に分乗して向かい、専門のインストラクターから指導を受けました。

屋内プールを使用した学習であることから、熱中症リスクの軽減や天候による中止のない計画的な水泳授業が可能となりました。また、本校教職員を含めた複数人で指導しますので、大きな成果が見込めます。

全6回の実施ですので、**体調管理などに気をつけると共に、指導をよく聞き、積極的な態度で参加し、泳力アップに努めてほしい**と思います。併せて、忘れ物がないようにも気をつけてほしいと思います。



「PTAあいさつ運動」ありがとうございました

8月28日(金)と31日(月)の2日間実施された(子供の健全育成に向けた)「PTA挨拶運動」では、朝のご多忙の時間帯にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございました。また、PTA会長をはじめ役員の皆様には、(怪我で休んでいるPTA職員の代わりに)売店のお世話もしていただき併せて感謝いたします。